

シンポジウム

「刑事司法と心理鑑定 フランスの現状と日本への示唆」

日時：2010年3月25日(木) 午後1:30～6:00

場所：立命館大学(衣笠キャンパス) 創思館 カンファレンスルーム

([正門から入って中央広場手前のドーム型の建物](#)) 駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

参加費：無料(事前申し込み不要ですが、来場者多数の場合は入場制限させて頂く場合がございます。)

司会 サトウ タツヤ・山崎 優子(立命館大学)

第1部 1:30～3:30

1:30-3:00 「フランス重罪裁判における心理鑑定」

アラン・ペナン(臨床心理学者・フランス破棄院認証鑑定人)

通訳：白取 祐司(北海道大学)・加納 由起子(神戸女学院大学)

3:00-3:30 「心理鑑定・精神医学鑑定 ― 法制度に関する日仏比較」 白取 祐司(北海道大学)

(休憩 15分)

第2部 3:45～6:00

3:45-4:15 「日本における心理鑑定 ― 足利事件の経験から」 佐藤 博史(弁護士)

4:15-4:30 「心理鑑定の実践例 ― 供述心理分析」 脇中 洋(大谷大学)

4:30-4:45 「心理鑑定の実践例 ― 実験心理アプローチ」 仲 真紀子(北海道大学)

4:45-5:00 「心理鑑定の実践例 ― スキーマ・アプローチ」 森 直久(札幌学院大学)

5:00-5:15 「心理鑑定の実践例 ― 人物鑑定」 村山 満明(大阪経済大学)

5:15-5:45 討論

5:45-6:00 総括 アラン・ペナン・白取 祐司



主催：科学研究費・基盤(A)研究課題名「刑事法学と心理学
- 刑事裁判心理学の構築に向けて」(代表・白取 祐司)

共催：立命館大学 R-GIRO「法と心理学」研究拠点の創成
(代表・サトウ タツヤ)

立命館大学 人間科学研究所

お問い合わせ：R-GIRO「法と心理学」研究拠点の創成

E-mail: law.psych1@gmail.com